１年生　進路学習・ものづくり体験授業

２月４日（火）の２～４校時に、総合的な学習で「ものづくり体験授業」を行いました。２時間目に全員が武道場に集合しました。そこで、講師の森永先生から仕事についてお話をいただきました。森永先生は、建築板金の仕事をされており、ものづくりマイスターとして有名な方です。全国で１位になられた経験もあります。「自分は全国大会で２位を３回経験しました。しかし、１位になった時に、２位と１位とでは全然違います。皆さんも、何か目指すときには、ぜひ１位になれるように頑張ってほしい。」という内容でした。「少しでも興味のあるものに触れ、まず、やってみることが大切。そのようなことを続けていきながら、自分の進むべき道を見つけてほしいと思います。」と１年生全員を励ましていただきました。

また、日見小・日見中を卒業された先輩である、山下先生も講師として来てくださいました。朝早い時間から、中学校へ来てくださり、「懐かしいです。久しぶりに日見中学校に来ました。」と笑顔で、小学校や中学校の校舎を眺めておられました。

３校時と４校時は、金工室と被服室に分かれて、作業を行いました。建築板金のチームは、銅板を使って、表札を作りました。畳作りのチームは、小さな畳を縫いながら、丁寧に針仕事をしました。どちらのチームも、休憩時間を忘れるほど、講師の方々の説明を真剣に聞き、集中して作業を行い、作品を立派に仕上げることができました。

今回の貴重な体験を通して、ものづくりの楽しさや出来上がった時の喜びを味わうことができたと思います。今後の自分の進路を考える良い機会になったことでしょう。１年生の保護者の皆様には、お子様の作品をぜひご覧になり、いろいろなお話を聞いていただきたいと思います。